

協働のまちづくり

# 協働のまちづくり

問合せ  
町民生活課自治推進班  
TEL 6985

『協働のまちづくり』に関する活動をシリーズで紹介しています  
今回は、町内で行われている観光ボランティアを紹介します

## 協働のまちづくりと

### 観光ボランティア

#### 協働のまちづくり

今回は、観光ボランティアなど、観光に関わる協働のまちづくり事業を紹介いたします。

観光に関するボランティア活動を行っている団体には、観光ボランティアの会があります。観光シーズンに合わせて、駅構内で観光案内を行っています。

協働のまちづくりの協働形態としては、事業協力となります。

観光ボランティアの活動を紹介する前に、町の観光資源や町を訪れる観光客数の推移について、紹介します。



## 上富良野町の観光資源

上富良野町には次のような観光資源があり、観光客が訪れています。

### ●かみふらの八景

上富良野町にある絶景スポットから選りすぐりの8つの風景を八景として、毎年たくさん観光客が訪れます。

### ●深山峠

上富良野町の観光拠点のひとつで、ペンションや体験型観光施設、ラベンダーを見ることが出来ます。

### ●日の出公園ラベンダー園

八景の中で最も知名度が高く、四季彩まつりの会場にもなるため、毎年多くの観光客が訪れます。

日の出山の上にある「愛の鐘」では、ウエディングドレスを着て写真を撮影することもできます。

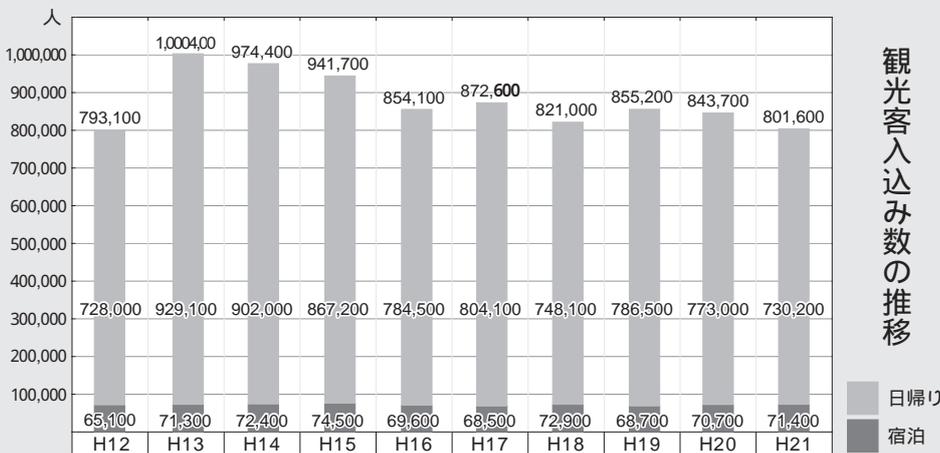
特産品「かみふらのポーク」を使ったまちおこしが行われています。

## 観光客数の増減

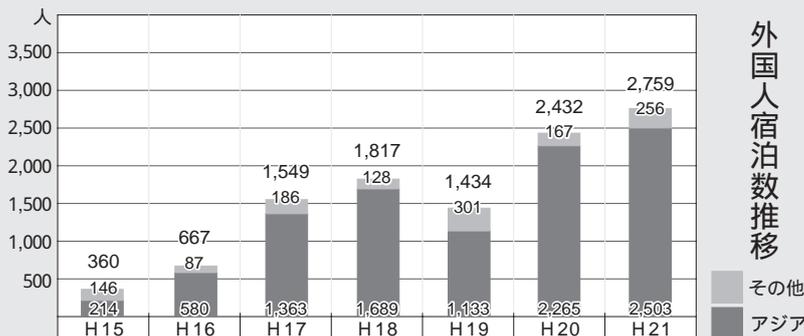
過去10年間を見ると、観光客数は、平成13年をピークに徐々に減ってきているものの、宿泊客数は例年と変わらず推移しています。(左表参照)

また、外国人宿泊数は、平成15〜21年までの7年間で、約9倍まで増えて

## 観光客入込み数の推移



## 外国人宿泊数推移



おり、観光客数の減と反比例していることから、特にアジアからの外国人宿泊客数の占める割合が増大していることがわかります。



協働のまちづくり

観光ボランティアの会

観光ボランティアの会は、上富良野町を訪れる観光客に観光案内を行うボランティア組織として、平成12年に設立されました。

●観光案内

観光シーズンの6月から8月末までの毎日、上富良野駅で観光案内を行っています。今年はこのほかに、9月の土・日曜日と紅葉祭りの手伝いを考えています。

会員30名が、午前と午後で2人ずつ交代で観光案内所に詰めています。今年には緊急雇用対策事業で1名に支援いただいています。

上富良野の景色や自然、ラベンダー、温泉、宿泊施設、美術館、飲食店、農産物などパンフレットなどで紹介をしています。



外国人に観光案内する森本さん



観光案内所で待機する観光ボランティア

また、外国からの観光客には、会員が手作りした英語の観光マップを使って案内をしています。

●環境整備

6～8月の月1回、駅周辺の草刈りをしています。

また、観光客に心とんでいただくと、会員個人により、ハンキングやブランターなどを設置して花を飾ったり、待合室の椅子の座布団を用意しています。



駅構内の花壇整備

観光ボランティアの会の佐川会長と会員の方にお話をお聞きしました。



小島盛作さん

『地元の人が何とも思わないところでも、観光客は良いと思って観光に訪れます。観光に訪れた方が何を知りたいのか知るように心がけて対応しています。今年はノロック号から上富良野に降りる観光客が増えていますが、手作りの観光マップを使って案内をしています。』



森本京子さん

『昨年と比べて外国の人、特に中国人が多く訪れています。地図を使ったり、身振り手振りや片言の英語で説明しています。言葉がわからなくても話しかけることが大事だと思います。観光客が何を求めているのか考えながら、まごころで対応するように、心がけています。』



観光ボランティアの会  
会長 佐川典子さん

『「おみやげに笑顔を渡そう」と「おもてなしの心を持って」は、北海道のスローガンでしたが、おもてなしの心を持つことで地域愛も芽生えます。いい出会いや思い出の一助に、私たちのおもてなしの心を添えて行きたいと思っています。』

上富良野特有の十勝岳とパノラマ大地の景色は自信を持って案内できる誇りであり財産です。この地に、好印象でまた来て頂けることが会員一同の願いで、日々ボランティアを続けています。

ひと夏に、半日でもご協力して下さる方を募集していますので気軽にお声をかけてください。』